

令和8年度兵庫県専任教員養成講習会 受講申込書類記入時の留意事項

- ※ 申込書類は、パソコンでの入力のみとする。様式は変更しないこと。
- ※ 申込書類は、審査の対象となります。誤字脱字のないように、入力後は必ず確認すること。
- ※ 年の標記は、すべて和暦(昭和・平成・令和)で入力すること。

1 「推薦書」施設推薦による応募の場合

- (1) 「職名」には、養成所の場合は「実習調整者」「専任教員」「実習指導教員」のいずれか、病院等の場合は「師長」「主任」「スタッフ」のいずれかを入力すること。
- (2) 被推薦者が1人の場合は、「推薦順位」に「第1位」と入力すること。
- (3) 養成所の中に複数課程がある場合は、養成所としての推薦順位を決定すること。
- (4) メールアドレスは、内定通知とその他書類を送付する際に必要となります。通知は各施設長宛に通知するため、受信可能なアドレスにすること。

(県外者は各都道府県を経由しての通知となります。)

2 「個人調査書」

- (1) 「年齢」は、令和8年4月1日現在で入力すること。
- (2) 「現住所」欄のメールアドレスは、連絡以外に資料等の送付をする場合があるため、受信可能なアドレスにすること。
- (3) 「勤務施設」
 - ① 「現在の職種・職名」には、養成所の場合は「実習調整者」「専任教員」「実習指導教員」のいずれか、病院等の場合は「師長」「主任」「スタッフ」のいずれかを入力すること。
 - ② 「現在の担当科目」には、病院等に勤務している者は実習指導担当科目を入力すること。
 - ③ 「受講後の担当科目」が未定の場合は空欄とすることなく「未定」と入力すること。
- (4) 「専門領域別演習の希望領域」は、希望するものを第2希望まで入力すること。
専門領域別演習の希望領域により、グループ編成や助言講師を依頼する資料とするので、担当領域について受講希望者と所属施設とでよく検討の上入力すること。
(変更申し出には、対応できない場合があります。)

専門領域別演習（以下の6領域から選ぶこと）

基礎看護学、成人・老年看護学、小児看護学、母性看護学、
精神看護学、地域・在宅看護論

- (5) 「学歴」
 - ① 通信制大学等に在学中の場合は、「卒業年月」は卒業予定年月を記載し、「在学中」と（　）書きすること。
 - ② 「専門学歴」には、看護に関する学歴を入力すること。
 - ③ 看護師養成所の場合、3年課程・2年課程の別、全日制・定時制の別を入力すること。
 - ④ 「修業年限」は休学、留年を含めた年数とし、（　）書きで休学又は留年した年数

を入力すること。

(6) 「職歴」「経験年数」

- ① 現在の就業施設名の「期間」は着任日から令和8年3月末日までを入力すること。
- ② 「職種・職位・担当領域等」は病院の場合は診療科目等を入力すること。
(例: ICU、外科、手術室)
- ③ 看護職の「経験年数」は、各免許取得後、就業開始日から令和8年3月末日までとし、端数の日数は切り上げ1か月とみなして入力すること。
- ④ 職歴の「期間」と「経験年数」は一致していること。一致していない場合は、その理由を備考欄に入力すること。端数の日数は切り上げ1か月とみなして入力すると。
- ⑤ 「経験年数」には産前・産後休暇・育児休暇期間、病気休暇期間、介護休暇期間（月単位で休んだ場合）は、含めないこと。
備考欄に、その理由を入力すること。 (例: 1年○か月 育児休業)

(7) 「免許証番号及び登録年月日」

准看護師免許を紛失している場合は、直ちに再交付申請を行い「再交付申請中」と入力すること。再交付後は、看護指導担当まで「登録府県」「登録番号」「登録年月日」を必ず連絡すること。

(8) 「過去に受けた講習会」は、1か月以上の開催期間のものを入力すること。

(9) 入力内容を確認し、記載（入力）年月日、署名（入力）すること。

＜各様式は、**兵庫県ホームページ**でダウンロード可能です＞

兵庫県ホームページ>分類から探す>健康・医療・福祉>医療>医療・保健衛生>令和8年度兵庫県専任教員養成講習会の受講者募集について